

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年12月12日から2024年12月5日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス 米国の株式等 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■米国株式を実質的な投資対象とし、リバーサル戦略と銘柄選択により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス」における株式の銘柄選択にあたっては、個別企業のファンダメンタルズを勘案したリバーサル（逆張り）戦略により行います。外国投資信託証券における株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ■株式への投資に加え、ツインαネオ戦略を行うことで、オプションプレミアムの確保を目指します。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

米国リバーサル戦略 ツインαネオ (毎月分配型) 【運用報告書(全体版)】

第15作成期（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

第 85 期 / 第 86 期 / 第 87 期
決算日2022年1月5日 決算日2022年2月7日 決算日2022年3月7日

第 88 期 / 第 89 期 / 第 90 期
決算日2022年4月5日 決算日2022年5月6日 決算日2022年6月6日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率			
61期 (2020年1月6日)	円 4,304	円 50	% 2.4	% 0.5	% 97.7	百万円 4,276
62期 (2020年2月5日)	4,352	50	2.3	0.5	97.4	4,237
63期 (2020年3月5日)	4,003	50	△ 6.9	0.4	97.0	3,788
64期 (2020年4月6日)	3,214	50	△ 18.5	0.6	96.3	2,969
65期 (2020年5月7日)	3,135	50	△ 0.9	0.7	96.1	2,887
66期 (2020年6月5日)	3,234	50	4.8	0.7	96.1	2,961
67期 (2020年7月6日)	3,236	25	0.8	0.6	96.6	2,937
68期 (2020年8月5日)	3,303	25	2.8	0.5	97.2	2,960
69期 (2020年9月7日)	3,353	25	2.3	0.3	97.8	2,944
70期 (2020年10月5日)	3,261	25	△ 2.0	0.5	97.7	2,844
71期 (2020年11月5日)	3,283	25	1.4	0.5	96.7	2,823
72期 (2020年12月7日)	3,417	50	5.6	0.3	97.2	2,776
73期 (2021年1月5日)	3,394	50	0.8	0.4	96.4	2,728
74期 (2021年2月5日)	3,485	50	4.2	0.4	97.1	2,730
75期 (2021年3月5日)	3,503	50	2.0	0.4	97.5	2,615
76期 (2021年4月5日)	3,635	50	5.2	0.4	97.7	2,619
77期 (2021年5月6日)	3,590	50	0.1	0.5	97.3	2,513
78期 (2021年6月7日)	3,680	25	3.2	0.4	97.2	2,483
79期 (2021年7月5日)	3,754	25	2.7	0.4	97.0	2,450
80期 (2021年8月5日)	3,701	25	△ 0.7	0.4	97.4	2,345
81期 (2021年9月6日)	3,757	25	2.2	0.4	97.3	2,338
82期 (2021年10月5日)	3,628	25	△ 2.8	0.4	97.0	2,161
83期 (2021年11月5日)	3,775	25	4.7	0.4	96.8	2,154
84期 (2021年12月6日)	3,634	25	△ 3.1	0.4	97.3	2,039
85期 (2022年1月5日)	3,822	25	5.9	0.3	96.8	2,004
86期 (2022年2月7日)	3,735	25	△ 1.6	0.3	97.8	1,932
87期 (2022年3月7日)	3,553	50	△ 3.5	0.3	97.0	1,819
88期 (2022年4月5日)	3,791	50	8.1	0.4	97.6	1,904
89期 (2022年5月6日)	3,664	25	△ 2.7	0.4	97.4	1,811
90期 (2022年6月6日)	3,523	50	△ 2.5	0.5	96.9	1,721

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
			組 入 比	率		
第85期	(期 首) 2021年12月6日	円 3,634	% —	% 0.4	% 97.3	
	12月末	3,815	5.0	0.3	91.5	
	(期 末) 2022年1月5日	3,847	5.9	0.3	96.8	
第86期	(期 首) 2022年1月5日	3,822	—	0.3	96.8	
	1月末	3,709	△3.0	0.3	98.0	
	(期 末) 2022年2月7日	3,760	△1.6	0.3	97.8	
第87期	(期 首) 2022年2月7日	3,735	—	0.3	97.8	
	2月末	3,675	△1.6	0.3	97.3	
	(期 末) 2022年3月7日	3,603	△3.5	0.3	97.0	
第88期	(期 首) 2022年3月7日	3,553	—	0.3	97.0	
	3月末	3,811	7.3	0.4	96.4	
	(期 末) 2022年4月5日	3,841	8.1	0.4	97.6	
第89期	(期 首) 2022年4月5日	3,791	—	0.4	97.6	
	4月末	3,693	△2.6	0.4	96.7	
	(期 末) 2022年5月6日	3,689	△2.7	0.4	97.4	
第90期	(期 首) 2022年5月6日	3,664	—	0.4	97.4	
	5月末	3,491	△4.7	0.5	97.3	
	(期 末) 2022年6月6日	3,573	△2.5	0.5	96.9	

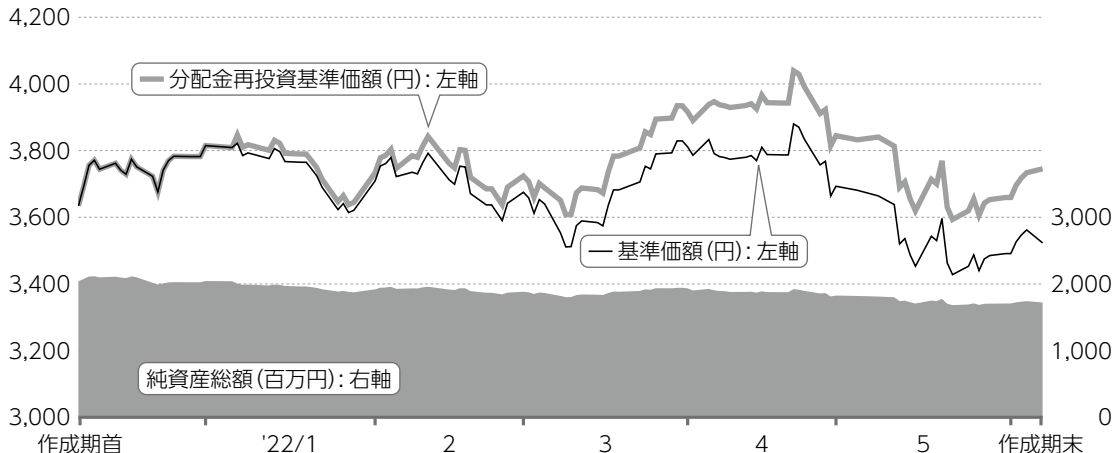
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	3,634円
作成期末	3,523円 (当作成期既払分配金225円(税引前))
騰落率	+3.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン α ネオクラスへの投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせ運用を行いました。

上昇要因

- 期間を通じてみれば、米ドル高・円安となったこと
- 「株式カバードコール戦略」がプラスに寄与したこと

下落要因

- 期間を通じて、インフレ懸念や長期金利の上昇、F R B（米連邦準備制度理事会）による利上げ、地政学リスクの高まりなどを背景に、米国株式市場が下落したこと

投資環境について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

期間における米国株式市場は下落し、為替市場は米ドル高・円安となりました。

米国株式市場

米国株式市場は下落しました。期間の初めから2021年12月中は経済再開への期待などからしっかりとした動きとなりましたが、2022年1月はインフレ懸念などから長期金利が上昇し、またF R Bの金融政策もタカ派（インフレ抑制を重視する立場）色が強まったことから下落に転じました。その後は、2021年10-12月期の企業業績が概ね堅調だったことで反発する局面もありましたが、インフレ懸念が強まり、またロシアによるウクライナ侵攻などもあり、米国株式市場は下落基調が継続しました。5月月初のF O M C（米連邦公開市場委員会）では0.5%の利上げが実施される一方、景気の先行き懸念が強まったことなどから、期間末にかけても軟調な動きが続きました。

為替市場

米ドル・円相場は期間の初めから2022年3月上旬にかけては、概ねレンジ相場となりました。その後、F R Bがタカ派色を強めることで、日米における金融政策の方向性の違いや金利差拡大を背景に米ドル高・円安となりました。5月には米国の急速な金融引き締め観測による景気減速懸念の台頭から、小幅に米ドル安・円高となる局面もありましたが、期間末にかけては再度米ドル高・円安が進行しました。

ポートフォリオについて（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

当ファンド

主要投資対象であるコロンビア・US コントラリアン・ファンド ツイン α ネオクラスを、期間を通じて高位に組み入れました。

コロンビア・US コントラリアン・ ファンド ツイン α ネオクラス

当ファンドの運用戦略であるリバーサル戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り投資）に基づき、現物株式ポートフォリオを運用しました。

また、米国株価指数（原則として S & P 500 指数とします。）のコールオプションの売りを行う「株式カバードコール戦略」および円に対する米ドルのコールオプションの売りを行う「通貨カバードコール戦略」を活用し、運用を行いました。

現物株式ポートフォリオは、S & P 500 指数をアウトパフォームしました。

期間における主な売買としては、Walmart Inc.、Wells Fargo & Company、Take-Two Interactive Software, Inc.などを購入する一方、Philip Morris International Inc.、Cisco Systems, Inc.、Autodesk, Inc.、などを売却しました。

マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

ベンチマークとの差異について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
当期分配金	25	25	50	50	25	50
（対基準価額比率）	(0.65%)	(0.66%)	(1.39%)	(1.30%)	(0.68%)	(1.40%)
当期の収益	－	－	－	0	－	－
当期の収益以外	25	25	50	49	25	50
翌期繰越分配対象額	3,795	3,770	3,720	3,670	3,645	3,596

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラスへの投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

コロンビア・USコントラリアン・ ファンド ツインαネオクラス

金融市場では、主にインフレ率の上昇や、FRBによる利上げのペースとタイミングなどが懸念材料になっています。企業業績は依然として概ねしっかりとはしているものの、インフレや金融政策、ロシア・ウクライナ情勢などを考慮すると、先行きに楽

観的になれる状況ではありません。一方で、経済活動の再開は明るい材料で、サービス支出(レストランや旅行など)に対する旺盛な繰延需要が存在しており、またサプライチェーン(供給網)の問題も解消していくと思われれます。ボラティリティ(価格変動性)が高い流動的な市場環境の中で、リスクに留意しつつ、長期にわたり上手く機能してきた逆張りプロセスを継続し運用する方針です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	25円	0.669%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は3,691円です。
（投信会社）	(8)	(0.219)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(16)	(0.438)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.013)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	25	0.674	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

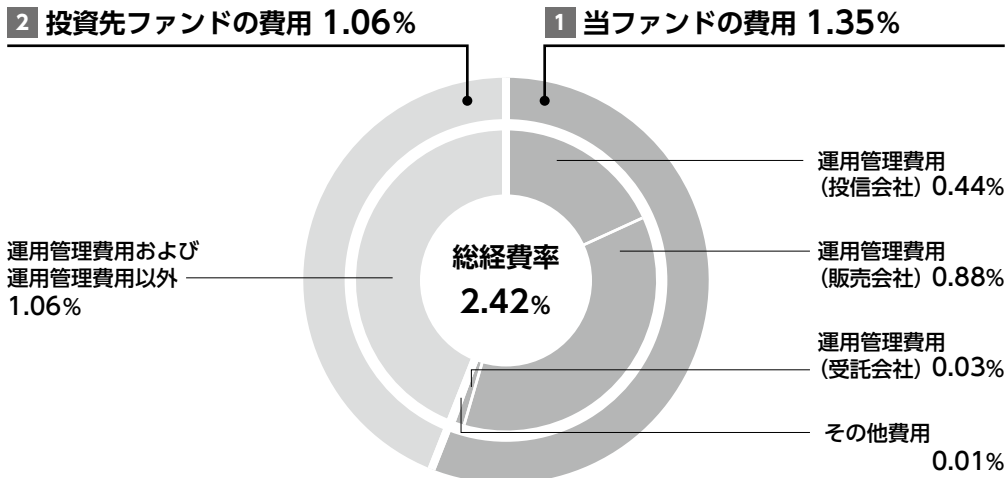
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)	2.42%
1 当ファンドの費用の比率	1.35%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.06%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.42%です。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コロンビア・USコントラリアン・ ファンド ツインαネオクラス	口 589,398,505	千円 128,126	口 2,437,507,111	千円 524,489

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2021年12月7日から2022年6月6日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 組入れ資産の明細（2022年6月6日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス	9,572,140,911	7,724,032,305	1,668,390	96.9
合計	9,572,140,911	7,724,032,305	1,668,390	96.9

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
マネー・マネジメント・マザーファンド	11,349	11,349	11,312

※マネー・マネジメント・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は17,390,532口です。

■ 投資信託財産の構成

（2022年6月6日現在）

項目	作成期末	比率
	評価額	
投資信託受益証券	1,668,390	95.4
マネー・マネジメント・マザーファンド	11,312	0.6
コール・ローン等、その他	69,336	4.0
投資信託財産総額	1,749,039	100.0

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月5日) (2022年2月7日) (2022年3月7日) (2022年4月5日) (2022年5月6日) (2022年6月6日)

項 目	第 85 期 末	第 86 期 末	第 87 期 末	第 88 期 末	第 89 期 末	第 90 期 末
(A) 資 産	2,062,150,682円	1,948,647,177円	1,847,807,315円	1,950,545,833円	1,826,728,819円	1,749,039,672円
コール・ローン等	66,682,458	45,667,298	70,309,316	79,979,654	51,815,624	68,254,199
投資信託受益証券(評価額)	1,941,406,378	1,891,288,911	1,765,850,152	1,859,253,745	1,763,600,761	1,668,390,977
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	11,314,704	11,312,434	11,312,434	11,312,434	11,312,434	11,312,434
未 収 入 金	42,747,142	378,534	335,413	—	—	1,082,062
(B) 負 債	57,330,542	15,707,332	27,993,876	46,185,479	15,681,211	27,924,851
未 払 金	—	—	—	118,776	—	—
未払収益分配金	13,114,044	12,937,103	25,606,113	25,118,823	12,357,948	24,426,602
未 払 解 約 金	41,915,618	365,110	374,179	18,862,705	1,102,636	1,420,874
未 払 信 託 報 酬	2,281,060	2,367,211	1,961,764	2,017,550	2,136,539	1,977,914
その他未払費用	19,820	37,908	51,820	67,625	84,088	99,461
(C) 純資産総額(A－B)	2,004,820,140	1,932,939,845	1,819,813,439	1,904,360,354	1,811,047,608	1,721,114,821
元 本	5,245,617,927	5,174,841,368	5,121,222,736	5,023,764,724	4,943,179,484	4,885,320,516
次期繰越損益金	△3,240,797,787	△3,241,901,523	△3,301,409,297	△3,119,404,370	△3,132,131,876	△3,164,205,695
(D) 受益権総口数	5,245,617,927口	5,174,841,368口	5,121,222,736口	5,023,764,724口	4,943,179,484口	4,885,320,516口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,822円	3,735円	3,553円	3,791円	3,664円	3,523円

※当作成期における作成期首元本額5,613,142,870円、作成期中追加設定元本額54,158,449円、作成期中一部解約元本額781,980,803円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 損益の状況

〔自2021年12月7日〕〔自2022年1月6日〕〔自2022年2月8日〕〔自2022年3月8日〕〔自2022年4月6日〕〔自2022年5月7日〕
〔至2022年1月5日〕〔至2022年2月7日〕〔至2022年3月7日〕〔至2022年4月5日〕〔至2022年5月6日〕〔至2022年6月6日〕

項 目	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期	第 90 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,495円	△ 2,470円	△ 968円	△ 629円	△ 928円	△ 1,189円
受 取 利 息	124	249	80	32	1	82
支 払 利 息	△ 4,619	△ 2,719	△ 1,048	△ 661	△ 929	△ 1,271
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	113,944,966	△ 29,553,473	△ 65,554,569	146,225,870	△ 48,321,342	△ 42,281,068
売 買 益	118,532,687	823,089	325,297	148,599,368	195,906	984,380
売 買 損	△ 4,587,721	△ 30,376,562	△ 65,879,866	△ 2,373,498	△ 48,517,248	△ 43,265,448
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,300,650	△ 2,386,407	△ 1,977,431	△ 2,033,825	△ 2,153,644	△ 1,993,819
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	111,639,821	△ 31,942,350	△ 67,532,968	144,191,416	△ 50,475,914	△ 44,276,076
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,272,979,376	△ 2,142,972,967	△ 2,163,132,801	△ 2,206,901,304	△ 2,048,944,874	△ 2,083,410,284
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,066,344,188	△ 1,054,049,103	△ 1,045,137,415	△ 1,031,575,659	△ 1,020,353,140	△ 1,012,092,733
(配当等相当額)	(770,168,926)	(760,948,802)	(754,156,043)	(743,044,895)	(733,930,082)	(727,163,887)
(売買損益相当額)	(△1,836,513,114)	(△1,814,997,905)	(△1,799,293,458)	(△1,774,620,554)	(△1,754,283,222)	(△1,739,256,620)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 3,227,683,743	△ 3,228,964,420	△ 3,275,803,184	△ 3,094,285,547	△ 3,119,773,928	△ 3,139,779,093
(H) 収 益 分 配 金	△ 13,114,044	△ 12,937,103	△ 25,606,113	△ 25,118,823	△ 12,357,948	△ 24,426,602
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 3,240,797,787	△ 3,241,901,523	△ 3,301,409,297	△ 3,119,404,370	△ 3,132,131,876	△ 3,164,205,695
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,066,344,188	△ 1,054,049,103	△ 1,045,137,415	△ 1,031,575,659	△ 1,020,353,140	△ 1,012,092,733
(配当等相当額)	(770,168,927)	(760,948,802)	(754,156,043)	(743,044,897)	(733,930,084)	(727,163,888)
(売買損益相当額)	(△1,836,513,115)	(△1,814,997,905)	(△1,799,293,458)	(△1,774,620,556)	(△1,754,283,224)	(△1,739,256,621)
分 配 準 備 積 立 金	1,220,769,794	1,190,247,388	1,151,259,265	1,101,072,486	1,068,320,525	1,029,612,260
繰 越 損 益 金	△ 3,395,223,393	△ 3,378,099,808	△ 3,407,531,147	△ 3,188,901,197	△ 3,180,099,261	△ 3,181,725,222

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期	第 90 期
(a) 経費控除後の配当等収益	436円	0円	0円	3,812円	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	770,168,927	760,948,802	754,156,043	743,044,897	733,930,084	727,163,888
(d) 分配準備積立金	1,233,883,402	1,203,184,491	1,176,865,378	1,126,187,497	1,080,678,473	1,054,038,862
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,004,052,765	1,964,133,293	1,931,021,421	1,869,236,206	1,814,608,557	1,781,202,750
1万口当たり当期分配対象額	3,820.43	3,795.54	3,770.63	3,720.79	3,670.93	3,646.03
(f) 分配金	13,114,044	12,937,103	25,606,113	25,118,823	12,357,948	24,426,602
1万口当たり分配金	25	25	50	50	25	50

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	25円	25円	50円	50円	25円	50円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス
基本的性格	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、株価指数オプション取引、通貨オプション取引を活用します。
投資方針	<p>1. 主として米国の株式等に投資しつつ、株価指数と通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、中長期的な信託財産の成長を目指します。</p> <p><米国株リバーサル投資戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 ・株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 <p><株式カバードコール戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式カバードコール戦略は、米国株価指数（原則S & P 500指数）にかかるコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。 ・株式カバードコール戦略は、投資環境によっては、保有する米ドル建て資産の評価額の約50%程度または約100%程度のコールオプションの売りを行います。カバー率の変更にあたっては、UBS株式リスク指標を活用します。 <p><通貨カバードコール戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通貨カバードコール戦略は、円に対する米ドルのコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。 ・通貨カバードコール戦略は、原則として保有する米ドル建て資産の評価額の50%程度のコールオプションの売りを行います。 <p>※カバードコール戦略では、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。</p> <p>※カバードコール戦略については、UBS AG ロンドン支店をカウンターパーティとするスワップ取引を通じて当該戦略を行った場合の投資成果を享受します。</p> <p>2. 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式等への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
収益の分配	原則毎月行います。
申込手数料	ありません。
管理報酬 その他費用	<p>管理報酬等：年0.64%</p> <p>上記の他、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、受託会社の費用、管理事務費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券等の保管に関する費用、設立費用、弁護士費用、財務諸表の監査にかかる費用や信託財産の事務に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p>
管理会社	ランタン・ストラクチャード・アセット・マネジメント・リミテッド
投資顧問会社	コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

以下には、「コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス」をシェアクラスとして含む「コロンビア・USコントラリアン・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

包括利益計算書 2021年9月30日に終了した年度

	2021年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)	2020年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)
収益		
受取配当金	60,979,118	78,065,614
受取利息	4,446,704	562,189
外国為替の利益／（損失）	14,824,875	(9,922,278)
金融資産負債に係る公正価値の変動	1,176,563,138	(167,521,694)
利益／（損失） 計	1,256,813,835	(98,816,169)
費用		
受託会社報酬及び管理会社費用	2,139,124	2,156,182
副管理会社費用	12,709,289	12,741,110
カスタディーフィー	6,705,868	4,511,870
投資運用報酬	19,609,142	19,318,010
運用報酬	3,699,695	3,946,482
取引費用	1,386,138	2,076,392
スワップ関連費用	3,539,971	4,890,614
コラテラル・エージェント・フィー	771,166	513,196
その他費用	3,032,326	2,793,209
費用 計	53,592,719	52,947,065
税引き前利益／（損失）	1,203,221,116	(151,763,234)
源泉税	(16,568,118)	(20,942,719)
受益者に帰属する純資産の増加（減少）（設立費用調整前）	1,186,652,998	(172,705,953)
設立費用調整額	(510,048)	(516,792)
受益者に帰属する純資産の増加（減少）（設立費用調整後）	1,186,142,950	(173,222,745)

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

組入上位銘柄

（基準日：2021年9月30日）

	銘柄名	業種名	比率
1	Microsoft Corporation	情報技術	6.6%
2	Apple Inc.	情報技術	5.6%
3	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	4.7%
4	Raytheon Technologies Corporation	資本財・サービス	2.9%
5	Alphabet Inc. Class C	コミュニケーション・サービス	2.9%
6	Alphabet Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.7%
7	Facebook, Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.6%
8	Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	2.5%
9	Johnson & Johnson	ヘルスケア	2.5%
10	Mastercard Incorporated Class A	情報技術	2.3%
	全銘柄数	76銘柄	

※比率は保有現物株の時価総額に対する割合

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2021年7月26日

(第8期：2020年7月28日～2021年7月26日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資は行いません。・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		公社債 組入比率	純資産 総額
		期騰	落中率		
第4期 (2017年7月25日)	円 10,000		% △0.1	% 79.3	百万円 49
第5期 (2018年7月25日)	9,995		△0.1	83.5	49
第6期 (2019年7月25日)	9,988		△0.1	86.0	37
第7期 (2020年7月27日)	9,979		△0.1	88.0	27
第8期 (2021年7月26日)	9,972		△0.1	62.4	27

*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		公社債 組入比率	債 率
		騰	落率		
(期首) 2020年7月27日	円 9,979		% -		% 88.0
7月末	9,978		△0.0		88.0
8月末	9,978		△0.0		62.5
9月末	9,977		△0.0		80.9
10月末	9,976		△0.0		88.2
11月末	9,976		△0.0		51.5
12月末	9,973		△0.1		69.2
2021年1月末	9,973		△0.1		69.0
2月末	9,973		△0.1		68.9
3月末	9,973		△0.1		68.9
4月末	9,973		△0.1		69.5
5月末	9,973		△0.1		62.3
6月末	9,972		△0.1		62.4
(期末) 2021年7月26日	9,972		△0.1		62.4

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：9,979円

期末：9,972円

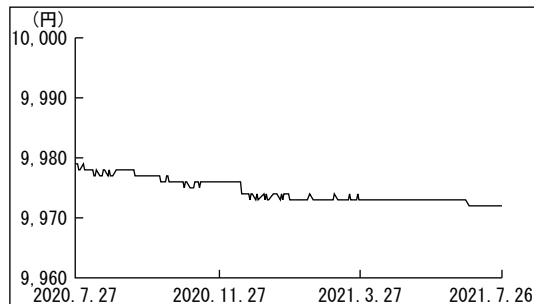
騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレート
のマイナス化が要因となりました。

基準価額の推移



【投資環境】

国内短期金融市場では、期首-0.09%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%～-0.18%内での動きに終始し、-0.11%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年7月28日～2021年7月26日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は9,975円です。			

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2020年7月28日から2021年7月26日まで)

■公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 特殊債券	22,165	— (29,000)

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2020年7月28日から2021年7月26日まで)

■公社債

		当期	
		買付額	売付額
銘柄	柄	金額	柄
		千円	千円
149	政保道路機構	5,050	—
137	政保道路機構	5,049	—
152	政保道路機構	5,029	—
11	政保政策投資C	5,015	—
145	政保道路機構	2,020	—

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2020年7月28日から2021年7月26日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2021年7月26日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	千円 17,000 (17,000)	千円 17,049 (17,049)	% 62.4 (62.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 62.4 (62.4)
合 計	17,000 (17,000)	17,049 (17,049)	62.4 (62.4)	— (—)	— (—)	— (—)	62.4 (62.4)

* () 内は、非上場債で内書き

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券 (除く金融債券))	%	千円	千円	
11 政保政策投資C	1.0000	5,000	5,006	2021/09/14
145 政保道路機構	1.0000	2,000	2,003	2021/09/30
149 政保道路機構	1.0000	5,000	5,016	2021/11/30
152 政保道路機構	1.1000	5,000	5,022	2021/12/28
合 計	—	17,000	17,049	—

投資信託財産の構成

2021年7月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	17,049	62.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,291	37.6
投 資 信 託 財 産 総 額	27,341	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年7月26日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,341,027円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,271,288
公 社 債(評価額)	17,049,399
未 収 利 息	9,656
前 払 費 用	10,684
(B) 負 債	2,997
未 払 解 約 金	2,997
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	27,338,030
元 本	27,414,261
次 期 繰 越 損 益 金	△ 76,231
(D) 受 益 権 総 口 数	27,414,261口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	9,972円

*元本状況

期首元本額	27,434,637円
期中追加設定元本額	477,685円
期中一部解約元本額	498,061円

*元本の内訳

タフ・アメリカ(マネーボールファンド)	7,968,318円
米国小型株ツインα(毎月分配型)	552,681円
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	1,998,801円
米国リバーサル戦略ツインαネオ(毎月分配型)	16,364,935円
米国リート厳選ファンド(毎月決算型)	249,776円
米国リート厳選ファンド(資産成長型)	249,776円
日本株アルファ・カルテット(年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース(ダイワ投資一任専用)	9,992円

*元本の欠損

76,231円

損益の状況

自2020年7月28日
至2021年7月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	200,705円
受 取 利 息	205,171
支 払 利 息	△ 4,466
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△218,593
売 買 損 益	△218,593
(C) そ の 他 費 用	△ 19
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 17,907
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 58,358
(F) 解 約 差 損 益 金	1,337
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,303
(H) 計 (D+E+F+G)	△ 76,231
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 76,231

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。